

第51回東北高等学校バドミントン選手権大会実施要項

主催 東北高等学校体育連盟 東北バドミントン連盟

共催 宮城県教育委員会 利府町 利府町教育委員会

後援 (公財)宮城県スポーツ協会 利府町体育協会

主管 東北高等学校体育連盟バドミントン専門部 宮城県高等学校体育連盟
宮城県バドミントン協会

1 期日 令和4年6月24日(金)～26日(日)

2 会場 グランディ・21宮城県総合運動公園総合体育館
「セキスイハイムスーパーアリーナ」
〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1 TEL 022-356-1122

3 種目

(1) 団体戦(学校対抗)

男・女各県2チーム 開催県(宮城県)は4チーム

ただし、前年度東北高等学校選手権大会の上位2チームの県

男子：福島県・青森県、女子：青森県・福島県

については、参加枠を各々1増とする。

(2) 個人戦(個人対抗) 男・女 各県4複4単

4 競技規則

令和4年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程および公認審判員規程による。

5 引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人戦の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。

(2) 監督・コーチは校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保健等)に必ず加入することを条件とする。

但し、各都道府県に規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

6 使用器具

(公財)日本バドミントン協会検定・審査用器具及び令和4年度第1種検定合格水鳥球を使用する

7 競技方法

(1) 学校対抗(団体戦)

ア トーナメント戦方式による。但し3位決定戦は行わない。

イ ダブルス2組・シングルス3名で行い、試合順はダブルス1・ダブルス2・シングルス1・シングルス2・シングルス3で実施する。なお、シングルス1出場者以外はダブルスと兼ねて出場することができる。

ウ 1対抗戦は3マッチ先取とする。

エ 監督・コーチ・選手・マネージャーの変更は、大会事務局に所定の変更届出用紙で提出すること。ただし、追加は認めない。

オ 上記7（1）エについては、監督会議開始前（監督会議受付）までとする。

（2）個人対抗（個人戦）

ア シングルス及びダブルスを行う。（シングルス・ダブルスは兼ねて出場できる）

イ トーナメント戦方式による。但し、3位決定戦は行わない。

ウ 選手の変更はいかなる場合も認めない。

8 編 成

学校対抗は、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手5名以上7名以内とする。

また、5名を欠いた場合はチームとして認めない。

9 参加資格

（1）選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒で、各県高等学校体育連盟に加盟し、当該競技要項により当大会の出場資格を得たものに限る。

（2）監督・コーチ・マネージャー・選手は（公財）日本バドミントン協会に令和4年度会員登録を完了したものとする。

（3）選手は、平成15（2003）年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

（4）チームの編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。

（5）統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

（6）転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住等やむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があれば、この限りでない。

（7）出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

（8）参加資格の特例

ア 上記（1）（2）に定める生徒以外で当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、各高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規程に従い大会参加を認める。

イ 上記（3）の但し書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、各県高等学校体育連盟の大会参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

（1）大会参加資格を認める条件

ア （公財）全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認められない。

ウ 各学校にあっては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失わず、運営が適切であること。

（2）大会参加に際し守るべき条件

ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、本大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については応分の負担をすること。

10 参加制限

(1) 学校対抗

- ① 各県男女 2 チームとする。
- ② 開催県は男女 4 チームとする。
- ③ 前年度東北高等学校選手権大会の上位 2 チームの県に参加枠を追加する。
男子・・・福島県、青森県 女子・・・福島県、青森県

(2) 個人対抗

- ① 各県ダブルス 4 組、シングルス 4 名とする。

11 参加申込

※ 個人情報の取り扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(1) 申込方法

ア 各校は各県委員長に参加申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて申し込むこと。

イ 各県委員長は各県分まとめて参加申込書を郵送で大会事務局に申し込むとともに、各県参加申込一覧表と組み合わせ表（氏名記入）をメール送信のこと。また、参加料は各県委員長が各県分まとめて、後日連絡する口座に振り込むこと。

メールアドレス：y_ohnuma@shokei.ac.jp

(2) 申込締切 令和 4 年 6 月 13 日（月）必着

※各県委員長は、参加校・選手が決定次第メールにて参加申し込みをお願いします。その後に参加申込書を送付してください。

(3) 郵送による申込先

〒980-0871 宮城県仙台市青葉区八幡一丁目 9-27
尚綱学院高等学校
宮城県高体連バドミントン専門部委員長 大沼 良彰 宛て
TEL 022-264-5881
FAX 022-264-5901

12 参加料

(1) 学校対抗 1 チーム 23,000 円

(2) 個人対抗 1 人 2,500 円

（ダブルス、シングルス重複出場者は 1 名分のみとする）

13 宿泊

(1) 宿泊料金 1 人 1 泊 2 食付 監督・コーチ：9,000 円（税抜）

選 手：9,000 円（税抜）

弁当：800 円（税込）

※上記宿泊料金は、令和 3 年 11 月 9 日旅館組合との協議により策定した基準料金です。

宿泊先によっては上記料金と異なる場合もあります。詳しくは、宿泊要項を参照して下さい。

(2) 申込方法 宿泊要項のとおり申し込むこと。

(3) 宿泊申込先 宿泊要項参照

14 表 彰

男女とも団体・個人単・複ともに3位まで表彰する。【感染症の状況ではコート表彰とする】

15 監督会議

令和4年6月23日（木）14：00利府町「セキスイハイム スーパーアリーナ」視聴覚室にて行います。

16 組み合わせ

令和4年1月の全国高校選抜東北地区予選会における東北委員長会議で決定済みです。

17 連絡事項

- (1) 練習は6月23日（木）12：00より各県ごと割り当てます。詳細については、後日県委員長に連絡します。

開会式は6月23日（木）15：30から利府町「セキスイハイム スーパーアリーナ」にて行います。【開会式は行わない】

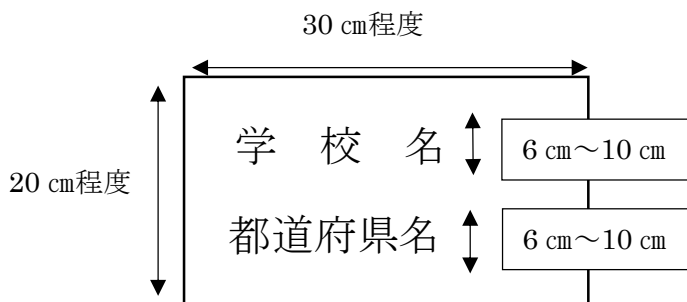
- (2) 水分補給はスクイズボトルやプッシュ・プルキャップなど蓋付き容器を使用し、ラケットバックなどに入れること。

(3) 服 装

ア 競技時に色付き着衣を使用する場合及びシューズは(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。

イ 上衣の背面中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。目立たない場合には、ゼッケンをつけてもらう場合もある。ウェアの表示については、一部(公財)全国高体連バドミントン専門部独自の申し合わせ事項を加える。文字列の大きさは、高さ6cm～10cmとし、(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。【上段:学校名、下段:都道府県名】ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦20cm程度、横30cm程度の大きさを基準とする。(ゼッケンの場合の文字の色は、黒い色または濃紺色とする。)

(例)



ウ 開会式・閉会式に参加するときの服装は、競技時の服装とする。